

Pressure Sensors

プレッシャーセンサー VPSE型

帯電防止仕様

ガス透過対策品

RoHS2



特長

- ◎ 接液部に耐食性を持つフッ素樹脂を採用しています。
- ◎ 接液部に電気を通しやすいPTFE-CNTを使用しており、静電気による故障を低減することが可能です。
- ◎ 押ボタン式のゼロ調整機能を採用し、メンテナンス性が向上しました。

ご注意

センサーケースを回さないでください。故障の原因となります。
流路内の静電気を除去するために、シールド線を必ずアースに接続してください。

型式

VPSE-1/2-P300P

▶ 接続サイズ 1/2:1/2" (φ12.7×φ9.53)

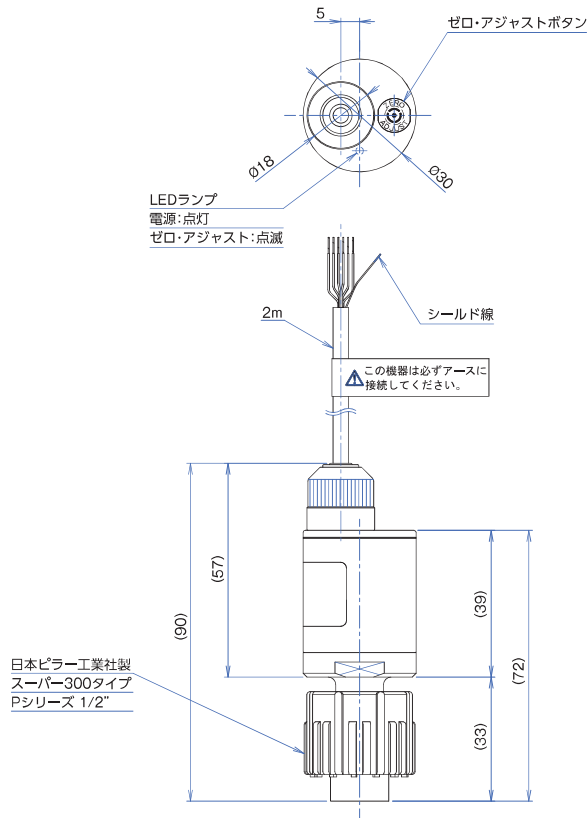
▶ 継手：日本ビラー工業社製スーパー300タイプPシリーズ

仕様

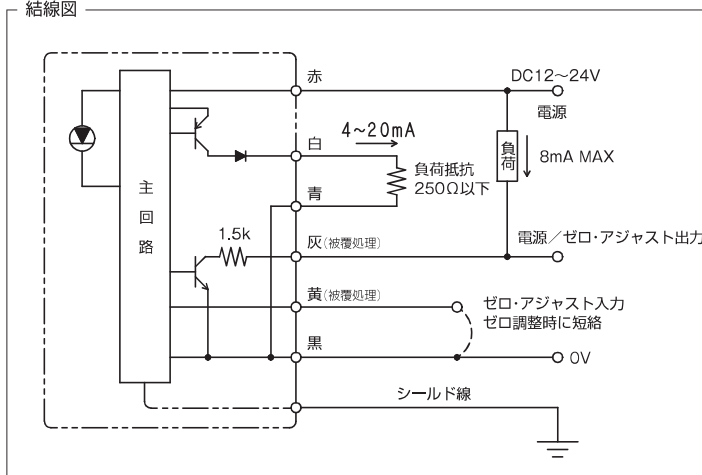
| 型式 | VPSE-1/2-P300P |
|--------|----------------------------|
| 圧力種類 | ゲージ圧 |
| 定格圧力 | 0~500kPa |
| 耐圧 | 750kPa |
| 接続形状 | チューブ出しナット施工 |
| 接液部材質 | PTFE、PTFE-CNT、PFA |
| 流体 | 気体、液体(純水、薬液) |
| 環境温度 | 15~50℃ |
| 流体温度 | 15~80℃ |
| 直線性 | ±1%F.S.(at 25℃) |
| ヒステリシス | ±1%F.S.(at 25℃) |
| 温度ドリフト | ±0.05%F.S./°C |
| アナログ出力 | DC4~20mA |
| 電源電圧 | DC12~24V±10% |
| 消費電流 | 12V時Max.100mA/24V時Max.70mA |
| ケーブル | 2m(軟質フッ素樹脂被覆) |
| 保護等級 | IP65準拠 |

寸法図

●VPSE-1/2-P300P



結線図



ご注意 ゼロ調整は必ず大気開放状態で行ってください。

Pressure Sensors & Pressure Gauges

●使用上のご注意



- ◎ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書記載以外のご使用で発生した事故につきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。
- ◎配線作業は、必ず電源を切った状態で行ってください。
- ◎電源に市販のスイッチングレギュレーターをご使用になる場合には、必ずフレームグランド (FG) 端子を接地してください。
- ◎センサー取り付け部周辺にノイズ発生源となる機器 (スイッチングレギュレーター、インバータモーターなど) をご使用の場合は、機器のフレームグランド (FG) 端子を必ず接地してください。
- ◎高圧線や動力線との並行配線や、同一配線管の使用は避けてください。誘導による誤動作の原因となります。
- ◎アナログ電圧出力には、短絡保護回路を装備していません。
- ◎定格圧力範囲内でご使用ください。
- ◎耐圧力を超える圧力を加えないでください。ダイヤフラムが破損して正常な動作が得られなくなります。
- ◎電源入力は、定格を超えないようご注意ください。
- ◎電源投入後、20分以上暖機してご使用ください。
- ◎圧力ポートから、ドライバーなど硬い物を入れて押さないでください。ダイヤフラムが破損して正常な動作が得られなくなります。
- ◎保守および交換の場合は、必ず配管内の圧力を大気圧状態にしてから行ってください。
- ◎計測流体にウォーターハンマーがなく圧力変動 (脈動など) がある場合、ダンパーを取り付けてください。
- ◎計測流体内に異物があると作動不良の原因になりますので避けてください。
- ◎ゴミ、異物が混入している流体は正常な機能を妨げますので、使用しないでください。
- ◎研磨剤または凝固しやすい流体は、正常な機能を妨げますので、固着させないような方法を取るなどして、取り扱いには十分ご注意ください。
- ◎プレッシャーゲージは、正立 (目盛り板に向かって垂直方向) にて検査・調整していますので、必ず正立でご使用ください。
- ◎プレッシャーゲージへの外部振動は避けてください。
- ◎プレッシャーゲージの圧力導入は、ゲージコックをゆっくり開くなど、徐々に昇圧してください。特に初めて圧力をかける際は、安全を確認しながら徐々に実施してください。
- ◎透過性の高い薬液を長時間使用する場合は、安全のため必ず定期点検を行ってください。
- ◎急激な流体温度変化が生じるような条件では、製品が破損するので使用しないでください。
- ◎使用していない配線は保護してください。
- ◎静電気が発生する場合は、機器が故障する可能性があります。帯電防止策を施してご使用ください。
- ◎センサーケースを回さないでください。故障の原因となります。
- ◎製品を直接外部から温めて使用しないでください。外部リークまたは内部リークなど故障の原因になります。
- ◎帯電防止仕様のセンサーに関しては流路内部の静電気を除去する為に、シールド線を必ずアースに接続してください。

〈デジタルプレッシャーモニター〉

- ◎パネル取り付けの際、ネジを強く締め過ぎると取り付け枠がストッパーより外れる恐れがあります。
- ◎パネル強度が弱い場合、パッキンとパネルの間に隙間が生じ、防水性を損なうことがありますのでご注意ください。
- ◎放熱の妨げとならないよう、本機の周辺をふさがらないでください。
- ◎端子上部の通風孔をふさがらないでください。